



政進会
あおき
青木 ひろふみ
博文

人口誘導で豊かで活力ある地域を目指して

その他の質問事項

- ▼ 片丘バイパス事業について
- ▼ 信州Fパワープロジェクトについて

◆人口誘導を図るための地区組織について

問 地区計画策定協議会について、活動している組織はいくつあるのか。

答 本市では、市街化調整区域の集落の維持・活性化を図るため、令和2年度に必要な条例改正を行い、既存集落型地区計画制度を導入。制度開始以降は、都市計画決定となった地区を含め、5地区の協議会が組成され、現在、地区計画の策定を進めている。南内田区、柿沢区及び棧敷区の3区が計画の原案の提出に向けて活動をしている状況である。

問 活動している地区協議会の成果と課題についてどうか。

答 成果については、既に地区計画を都市計画決定した床尾区において、地区計画の区域内で今まで開発が出来なかった場所で宅地造成が行われたことで、地区外からの移



宅地醸成された床尾区

(都市計画課)

住・定住の確保につながっている。一方で地区計画を策定する上での課題としては、地区計画を検討する区域内に土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の災害ハザードエリアが存在した場合、それらのエリアを含めることが困難であるといった課題もあり、エリアを決定していく上で、慎重な対応が必要となっている状況である。この地区計画制度は、人口減少及び高齢化が進展する状況下において、コンパクトなまちづくりと調和を図りつつ、既存集落の地域コミュニティを維持するための有効な手法であると考えている。

市民の暮らしと健康を守ること



日本共産党
おざわ しょういち
小澤 彰一

その他の質問事項

- ▼ 市職員のジェンダー平等について
- ▼ 産業振興について

◆市民の健康について

問 国保榑川診療所の診療を維持しながら、診療所を利用したオンライン診療はできないか。

答 地域医療の維持のためには有効な手段と考える。県内では、売木村診療所・阿南病院の取り組みなどがモデルケースになっている。今後、本市に合った診療体制を検討していく。

問 加齢性難聴は高齢者の孤立感を深める。補聴器購入の補助について、近隣自治体の状況と、市の考えはどうか。

答 県内では伊那市・飯山市・大町市、町村では木曾町・南箕輪村・中川村・松川村・飯島町が補聴器購入補助を行っている。加齢性難聴者は補聴器装着によって日常生活の質の維持や社会参加の促進につながり、公的支援を求める声が上がっているが、全国共通の課題であり国による統一的な

対応が望まれる。情報を収集し研究を進めたい。(健康づくり課)

◆自治会の運営について

問 各自治会の加入率が下がり、高齢化によって役員実務が負担となってきた。軽減の対策はとっているか。

答 市全体の加入率は75%で、減少している。集合住宅の多い地区は加入率が低い傾向にある。吉田地区では、区費の納入や会計処理などにデジタル機器を使い事務の効率化を行っている。市も役員向けのデジタル機器の研修を行ったが、抵抗感からか受講者は少なかった。引き続き実務軽減の支援方法を検討していく。(地域づくり課)



簡易な補聴器があるだけで生活が変わる